

～三重に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

THE 市町支援通信



あすなる学園市町支援グループでは、
「途切れのない支援システム」の構築を協働支援します

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなる学園は多くの市町と協働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 発達総合支援室（保健・福祉・教育等部局を一元化した室）又は機能の設置
- ② 「3歳児発達チェック」「5歳児発達チェック」の施行、「個別の指導計画」の作成、巡回指導による支援スキルの導入
- ③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成（あすなる学園での1年間研修）

熱意が人を動かし、組織を生む

～津市「こども総合支援室」に学ぶ～

あすなる学園市町支援グループの主催により、将来的に「発達総合支援室」を設置予定の菰野町、四日市市、鈴鹿市、松阪市、伊勢市、鳥羽市、南伊勢町（7市町27名の保健・福祉・行政の担当者）が、津市「こども総合支援室」の仕組みを学ぶ会に参加しました。津市は、平成20年度、発達障がいや子育てに関する「途切れのない支援」をするために、保健・福祉・教育の部局を一元化し、子どもに関する相談を受け付け、総合的に支援する「こども総合支援室」を設置しました。そこで、「設置の経緯、事業の内容と人材育成」等について説明していただきました。また、同室の藪岸さんは「乳幼児期から支援が途切れなく引き継がれることが大切」と訴えられました。さらに、意見交換会では、「現場と行政のギャップ、三役への理解」等の質問があり、津市は「あすなる学園による津市担当者に始まり、幹部職員への熱意ある説明が追い風となった」と話されました。「途切れのない支援システム」の構築に向けて参加された市町担当者の前向きな姿勢がうかがえました。なお、当日の様子は毎日新聞にも掲載されました。



あすなる学園 大会議室にて 7月15日

<参加者の声 ～アンケートより～>

- ・人材の確保（予算も含めて）が必要。
- ・自立支援、虐待防止ネットワーク、家庭児童相談室との兼ね合いが課題。
- ・人と人との連携づくりの大切さを痛感した。
- ・担当者レベルでの情報共有などできることから取り組んでいこうと思う。 など多数いただきました。

2009. 夏 「途切れのない発達支援」研修会 ～621名参加～

7月11日から8月8日にかけて、県内5会場（志摩、川越、津、尾鷲、玉城）で「保育園、幼稚園の先生が明日から使える具体的な支援」をスローガンに講演会と事例検討会を開催しました。三重県29市町すべてから、保育士、幼稚園教諭、教諭、保健師、行政の方々が参加されました。講演会では、あすなる学園の療育スキルを中心とした具体的な支援のアイテム（折り紙の工程表や約束カードなど）を紹介しながら進行しました。事例検討会では市町の枠を超えてグループを編成し、個別の指導計画を立て、発表していただきました。時間が少ない中、活発な意見が多く出されました。

お帰りの際には、あすなる学園よりタイプの違う4事例の個別の指導計画のマニュアルを配布し、今後の保育や教育に活かしていただけるようにしました。



志摩市阿児アリーナ 事例検討会 7月11日
182名 参加

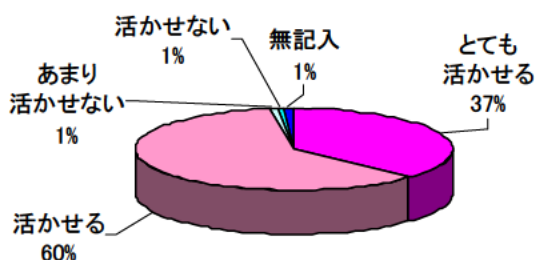


川越町役場大会議室 講演会 7月18日
116名 参加

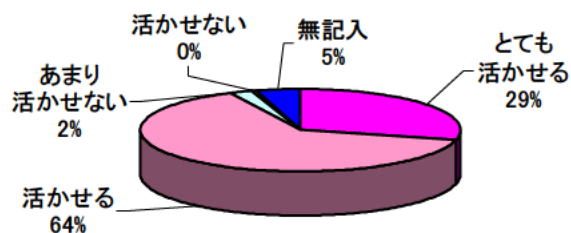
アンケート結果

(総参加者数621人、有効回答率86%)

講演は保育や教育に活かせますか？



事例検討会の個別の指導計画は、保育や教育に活かせますか？



- ・ 今後も圏域別での研修会を希望しますか？ 希望する 85%
- ・ 研修会が有料であっても参加しますか？ 参加する 76%
- ・ 巡回指導を受けたいですか？ 受けたい 60%
- ・ みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修を受けたいですか？ 受けたい 52%

<参加者の声 ～アンケートより>

- ・ 三重での取り組みを学び、岐阜の支援も充実させていきたい (岐阜県)
- ・ 近隣市町の状況がわかったし、公立と私立と一緒に学べるよい機会となった。(四日市市)
- ・ 障がい児でなくても、普段の保育に必要なことが勉強できるため、継続して学びたい。(志摩市)
- ・ 研修に参加された方と情報交換、つながりができてよかった。(玉城町)
- ・ 幼稚園、保育園の支援から小中学校へつなげていけるようにしたい。(東員町)

ステキな園 発見！！



1つの椅子で3通り



年少児はすっぽりと姿勢よく



年長になったらこの面に



ロッカーの下に収納

ここに入れれば
「ハイ」OK！！



卒園まで場所が
変わらない靴箱

春の巡回指導（18市町101園）では、子どもにとってよくわかる保育や子ども目線の環境設定をしている園に出会いました。今回は伊勢市のたけのこ保育園を報告します。

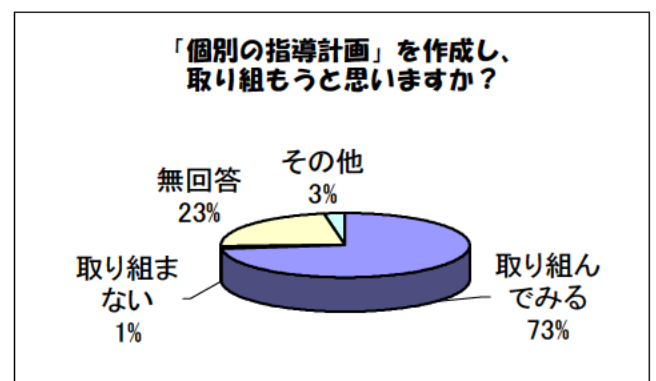
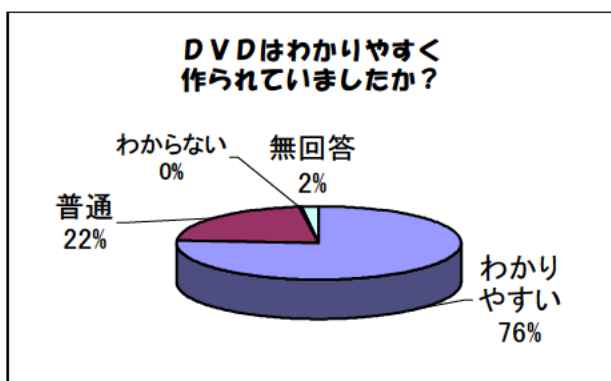
「こんないい園があるよ」といったご紹介がありましたら、あすなる学園 市町支援グループ（TEL：059-234-8700）まで、ご連絡ください。

アンケート結果

～「3歳児発達チェックリスト」「5歳児発達チェックリスト」「個別の指導計画作成」説明会より～

4月に県内7会場（伊賀・津・大台・鳥羽・いなべ・熊野・菰野）で行われた説明会のアンケート結果を報告します。あすなる学園が作成したDVDを活用して「3歳児発達チェックリスト」「5歳児発達チェックリスト」「個別の指導計画作成」の説明をしました。

（総参加者数582人、有効回答率90%）



☆ シリーズ Q&A ☆ part 2 ☆

日々の保育に役立てていただけるよう、シリーズQ&Aのコーナーを連載しています。

Q

友だちとのあそびが続かない

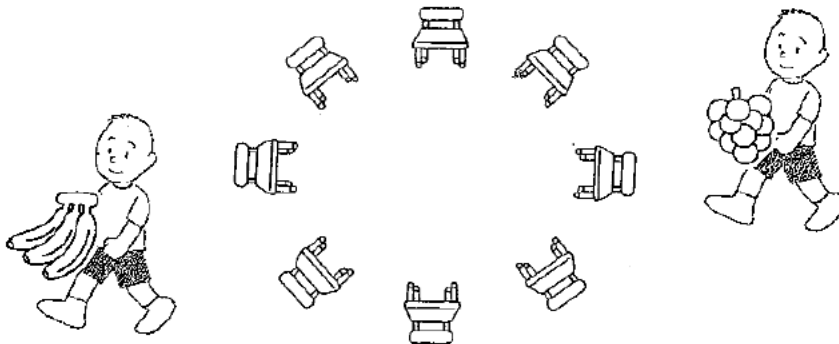
年中組のB子ちゃんはお遊びに入ることはできるのですが長続きしません。友だちとお遊びことができるように担任としてどのような支援をすればよいでしょうか。

A

あそび方がわからないことが考えられます。あそび方やルールをわかりやすく知らせましょう。

“フルーツバスケット”を例にとって、説明します。

- ① はじめからお遊びの輪の中に入れようとせず、見学席を作り、友だちがおそんでいるようすを見学させる。
- ② 絵や図、パネルシアターなどを使ってあそび方やルールをわかりやすく説明する。



- ③ 「バナナって言ったら動くよ」と個別に教える。先生と動き方の練習をしてから、他の先生や友だちに協力してもらって、少しずつ集団に近づけていく。先生が付き添い、動きを教えながら楽しく参加させる。

インフォメーション

- ① 秋季「巡回指導」が始まります。個別の指導計画を作成し、具体的な支援に取り組みましょう。

- ② 三重県の「途切れのない支援システム」が県外からも注目を集めています。

講演予定 山梨県(12/4)

来園予定 栃木県宇都宮市(9/29) 埼玉県深谷市(10/2) 岐阜県白川町(10/21)

東京八王子市(10/28) 岐阜県多治見市(未定) など多数。

- ③ 発達障がい支援合同研修会(仮称)

日時：平成22年2月7日(日) 13時～16時(12時30分受付)

場所：三重県総合文化センター 中ホール

内容：第1部 事業報告 第2部 記念講演 名城大学准教授 曾山和彦先生

主催：あすなろ学園、三重県こども局、三重県教育委員会

2009年 8月 28日

<発行>三重県立小児心療センター あすなろ学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援グループ

〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL:059-234-8700 FAX:059-234-9361

MAIL: asunaro@pref.mie.jp

URL: http://www.pref.mie.jp/ASUNARO/HP/